

株式会社関木工所

『就職して良かったと思える職場づくりを』

〔製造業〕

木製品製作・販売

代表者名：代表取締役社長 関 裕朗

従業員数：17人

創業：明治15年

住所：須坂市大字八町字花田1903-1

TEL：026-245-1096

事業内容：木工事、木製家具建具製造、取付・販売
給与：16万～22万

<http://sekimoku.com/>

須坂駅から車で15分ほどの高甫地域に関木工所があります。会社からは遠くに北信五岳を望むことができ、目の前には須坂市立高甫小学校が立地しているため朝夕には登下校する児童の姿も見られます。



関木工所の創業は明治15年。当時の家屋の造りは襖や障子が一般的な時代で、創業者はリヤカーで建具などの受注や販売をして回っていたそうです。昭和30～40年代の高度経済成長期には家具専門店を開業していた時代もあります。現在は5代目になる関裕朗社長（51歳）を筆頭に社員は17人。ゼネコンや住宅建設会社からの受注が主で、木製の建具や取り付け家具、大工工事、複合サッシ製造など木材を使った幅広い事業を展開しています。

●経営者として学び続ける

関社長は首都圏の大学を卒業後Uターンし、長野市の企業に就職しました。事務管理部門のシステムエンジニアとして8年間勤務したのち退社をし、父親が経営する関木工所に入社しました。就業当初は、現場に出て良い仕上がり具合を



さず「納まり」を学ぶことから始まり徐々に成長していったといいます。その他にも関社長は、会社を継ぐ立場として様々な研修等に参加し自己研鑽に努めています。入社4年目以降は専務を経て平成27年に5代目社長となりました。お客様だけでなく社員とその家族を含めた皆の幸せを考える経営理念を掲げています。社長自ら学び続け、社員とともに成長し合える会社づくりに取り組んでいます。

●取り組んでいる事業

関木工所が行っている事業は、一般建築現場の内装木工事や造付家具、木製建具工事の他、木製ウッドスクリーン、木製ウッドサッシの製作も手掛けています。アルミサッシと木製の部材を組み合わせた複合サッシ製品は断熱効果が高く優れていて、遠くは阿蘇くまもと空港のカーテンウォール部（柱）や中学校の校舎建物に、また平成27年3月に開業した北陸新幹線の新飯山駅舎や平成30年4月に開学の県立長野大学にも関木工所が関わった製品が使用され実績を残しています。



「設計図をもとに工務店や設計事務所と商品を考えてるところから話し合います。商品の素材や木目の縦横のデザインなど、またコスト的な提案もさせていただきます。一般住宅の棚や腰板、保育園の給食室の扉など身近な建具の他、店舗のカウンターやショーケースの棚製造にも携わっています」関社長は木製品の





幅広い可能性を話してくれました。

●やりがいを持って働く社員

関木工所では20代から70代まで幅広い社員が活躍しています。それぞれが担当場所で黙々と作業をする姿が印象的です。工場の一角で仕事をする小林さん29歳もUターン就職した一人です。



「下高井郡木島村の出身で校卒業後は岐阜県の専門学校に進学しました。そのあと静岡県で木工関係の仕事に就き4年半余り働きました。

実家のある長野県にUターンしようと決めてからは、木工の仕事の経験を生かして働ける会社を探し、関木工所を見つけて採用となりました。以前と同じ木を使う仕事でしたが、会社の環境が変わったことで慣れるのに3年くらいかかりました。今は職場の雰囲気も良く働きやすいです。今後は身近な生活家具を作っていきたいです」小林さんは任されて働くことの充実感を話してくれました。他の社員も「建物の中の部分的な製作ですが、完成した大きな建物を見ると、その一部分に自分が携わったと思うと嬉しい。やりがいを感じます」と口々に話してくれました。



●社員の家族も大切に

関社長は新年会や忘年会、春にはお花見など、仕事の状況を見ながら出来るだけ皆で交流しようと呼びかけています。また関木工所では社員の家族同士の交流も行っています。

「社員の家族に仕事場を見てもらう家族参観を毎年5月頃に開催しています。家族がどんなことをしているのか実際に見たり触れたりする場です。終了後みんなでバーベキュー大会やビンゴゲームをします」この家族参観は社員の家族にも幸せを感じても

らおうという目的で始めたそうです。社員が満足できなければ、お客様の満足も得られないという理念です。社員同士の横の繋がりを強くすることで、お互いを認め合い感謝し合える会社になりたいと関社長は願っています。

●働く環境づくりと求める人材

関木工所では、地域になくってはならない会社を目指そうと地域貢献にも熱心に取り組んでいます。

「現在は週1回、会社周辺の歩道ゴミ拾いをしています。冬は歩道の雪かき、また市内にある須坂小学校6年生のお仕事体験も受入れています。過去には次の時代を担う小学生が商売体験をするジュニアエコノミーカレッジで製作の協力をしたこともありました。今後も地域の役に立てることは何かを話し合いながら社内全体で取り組んでいこうと考えています」

求める人材は「誠実な人が理想ですね。共に同じ気持ちや姿勢で働ける人で素直な人がいいです。木工の仕事の経験がなくても工場長が先頭に立って指示を出してくれるので大丈夫です。組織に協力できる人材を求めます。木工の仕事は女性でも可能だと思います」

関社長には幼い頃のケガにより障害が残ってしまったお子さんがいます。お子さんの存在から学ぶことができていると言います。「この会社に入って良かった」と言ってもらえるような経営をし、いつか障害を抱える社員を採用した際は皆でフォローできる職場にしたいと話してくれました。

自然から生み出される木工の製作は「ものづくりの根源」とも言える仕事です。関木工所は、お客様や社員を大切に思い、製作を通じて木の温もりを伝え続けています。木工の仕事に魅力を感じる方、働く幸せを感じたい方は関木工所で働いてみてはいかがでしょうか。(2018年3月インタビュー)